

市費の配分予算の執行調整（担当；◎小林・森）

・ 消耗品費・ 役務費・ 備品費等の執行調整

①消耗品費・ 役務費等の執行調整

- ・ 公費の有効活用と市教委との連携強化の観点から、継続してとりくむ。
- ・ 調整時期：12月開催の連携会議にて周知，1月下旬～2月上旬に調整。

②修繕料（管理・教材）の執行調整

- ・ 昨年度同様，管理係＝管理備品，学務係＝教材備品の修繕を基本に執行調整を行う。
- ・ 集約の結果から，緊急性，全市的な運用方法を考えるなど，計画的で効率的な執行調整を行う。
- ・ 調整時期：1学期末（7月開催の連携会議）もしくは，2学期（9月開催の連携会議）で執行状況を確認し，1月下旬～2月上旬に調整。

③教材備品購入の執行調整

- ・ 今年度は，9～10月頃に執行状況の調査を行う。次年度予算要望書作成に反映させられるようにしたい。
- ・ 財政部会の各種調査「管理備品と指定教材備品の区分について」を活用させてもらい，執行調整に活かす。
- ・ 修繕と同じく集約の結果，緊急性，全市的な運用方法を考えるなどして，計画的な執行調整を行う。
- ・ 調整時期：9～10月頃に一度調整する。最終的には1月下旬～2月上旬に調整。

【全体を通じて】

- ・ 今年度は，他部会との連携を図る。例えば，財政部会とは，各種調査結果の活用，情報部会とは，学校間連携だより「ふらぬい」との連携。